

沢あそび

暑い夏の日中、冷たく澄んだ清流での沢遊びは格別です！大平入沢（支流）と横瀬川（本流）の二つの沢で年齢や目的に応じて遊べます。



ねらいとして考えられるもの

- ・源流域の川や沢での活動を通し、自然の中で活動する楽しさを味わう。
- ・自然が作り出した川や沢の様子、そこにいる生き物を知る。

可能な活動場所

- ・大平入沢（野外炊事場）、横瀬川（第一駐車場）

| 所員の指導 | 対象 | 月 | 人数 | 所要時間 | 費用 |
|-------|-------|-----|-------|------|----|
| 指導なし | 小学生以上 | 7～9 | 5～60人 | 2時間 | 無料 |

団体が準備するもの

水着、タオル、着替え、帽子、水靴または替えの靴、医薬品、日焼け止め

げんきプラザが準備するもの

実施要領

導入

- ① 動機づけ（下記「指導のポイント・展開のアイデア」参照）
- ② 安全上の注意（下記「留意点」参照）

準備（1グループ 6人程度）

- ① 水靴、水着、帽子の着用。準備
- ② バディを組ませる。

実施

- ① 水遊び（第一駐車場下の川）
 - ・生き物を観察する。
 - ・岩石を観察する。
 - ・笹舟をつくり、水の流れを観察する。
- ② 水遊び（大平入沢：野外炊事場の川）
 - ・生き物を観察する。

片付け

- ① 動かした岩などは現状復帰する。
- ② ゴミが落ちていたら拾う。

まとめ

- ・ふりかえり
- ・下記「まとめ」参照

留意点

- ①川幅は狭く、水深もあまりないので泳ぐのには適さない。
- ②本所の活動区域外へは行かない。
- ③水靴は必ず着用。
- ④石は投げない。

⑤ unnecessary 動植物の採取はしない。

指導のポイント・展開のアイデア

- ・ 子どもの感想、調べたこと・気がついたことの発表を行う。
- ・ 自分たちが普段飲んでいる命の水はどこから来るのか考えさせる。
- ・ 「雨が降り、海へ行き、蒸発してまた雲になる」地球の水の循環と私たちが生きるために水が大切であることなどを考えさせる。
- ・ 日本は水に恵まれた国であることを知らせる。